

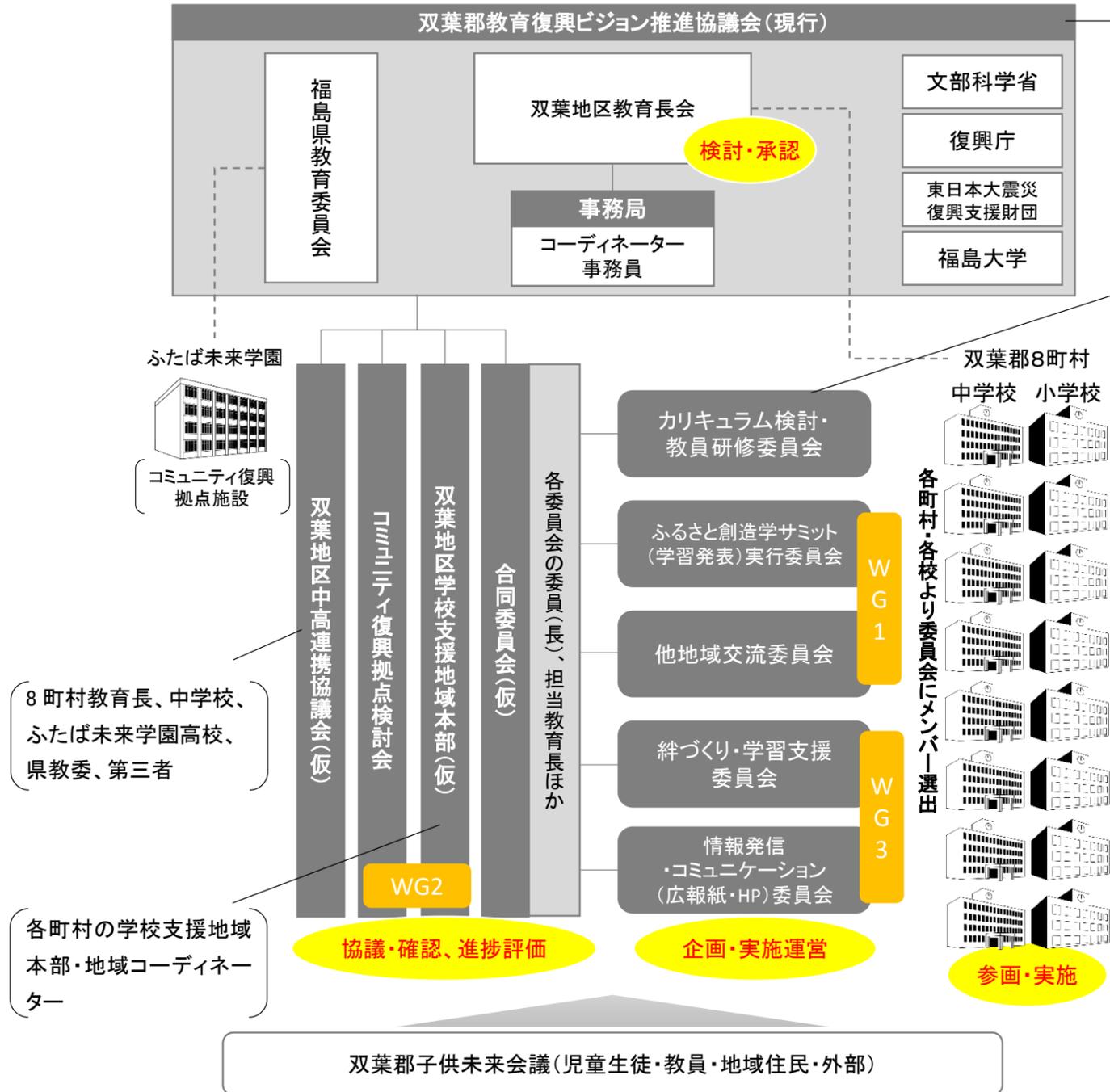
(15/04/30版)

H27年度の推進体制(案)

- ビジョンの具現化を加速するため、迅速な意思決定にむけた組織の再構成と役割明確化を図る
- 現場の主体的な活動を見据えて、実施テーマ別の委員会制にし、教員・生徒をメンバーに加える
- これまでの取組で、子供からの意見や活動、子供と地域の関わりが復興の力となることを確信。
子供未来会議は今後さらに内容を充実しながら発展させていく

協議会は、ビジョンの取組の方針を検討し、決定する
H27年度はひきつづき、中高一貫校の構想や事務局法人化について検討を進める
(事務局は議事調整や庶務を行うとともに、8町村教育長に承認された事項について、企画・実行する)

各委員会は、8町村の小中学校、ふたば未来学園高校、8町村教育委員会、県教育委員会をメインに、国や外部有識者などの協力も得て、各行事の企画・実施を行う
※WG委員については、アドバイザー的に参加していただく(これまでのWGの枠を超える場合もある)。
なお、今年度の委員選任(再任含む)にあたっては、正式に関係各所へ依頼予定(各学校長に関しては、校長会を通じて行う)



委員会(案)	検討・実施内容	生徒参加	H26年度実施内容
●カリキュラム検討・ 教員研修	「ふるさと創造学」とは。 ビジョンの教育方針をふまえたカリキュラム策定や、そのための教員研修	—	・「ふるさと創造学」指針策定 ・教員研修(3回)
●サミット(学習発表・ 生徒交流)	ふるさと創造学サミット (12/12)予定	○	・ふるさと創造学サミット(12/20)
●他地域との交流	H27年度は海士町を継続 将来的には海外を含む、他地域との交流も視野	△	・海士町往訪
●絆づくり・学習支援	双葉郡の児童生徒の交流の場や、学習支援・学校外でのゼミなど	○	・ふたばワールド ・学習支援拠点の相互利用
●情報発信・ コミュニケーション	広報紙の企画・取材・編集や、HPの活用など、コミュニケーション全般	△	・広報紙発行(3回) ・ビジョンHP

※上記の各組織には、これまで通り有識者等にも参画いただく
※委員会は例。必要に応じた関係者招集や追加の立ち上げも想定
※WGのあり方については、各協議会・委員会の動きに応じて今後検討